

# 地域医療連携室通信



〈旭山動物園 シンリンオオカミ〉

## ◆◆◆ 目次 ◆◆◆

- 1P 表紙・目次  
2P 2017年 年頭のご挨拶  
3P - 4P 北彩都病院 検査課の紹介・第32回北彩都病院市民講演会報告  
5P - 6P 北彩都病院 薬剤課の紹介  
7P お知らせ  
8P 第6回 慢性腎臓病患者についての勉強会報告

## ◆基本理念◆

私たちは、最良の医療と介護サービスを通して社会に貢献し、地域の皆様と共に歩み続けます。

## ◆基本方針◆

- 1) 患者・利用者の皆様の権利と尊厳を守ります。
- 2) 知識と技術の向上に努め、良質なサービスを提供いたします。
- 3) 安全・安心な治療と療養が出来るよう努めます。
- 4) 職員一人ひとりが成長できる魅力あふれる職場環境をつくります。

## 2017年 年頭のご挨拶



医療法人仁友会北彩都病院  
理事長 石田裕則

新年明けましておめでとうございます。

今年の年始は、旭川市内で多少の雪は降ったものの、大雪に見舞われることもなく、穏やかに新しい年を迎えることができました。また、年末年始の診療につきましても大過なく安全に運営することができました。これもひとえに皆様の当院へのご理解とご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

はじめに、当院の近況についてご報告を致します。

本年1月より、新たな診療科として消化器外科・肛門外科を開設し、消化器外科および肛門外科専門医 海老澤良昭先生をお迎え致しました。肛門疾患（痔など）、大腸・直腸疾患（がん、ヘルニア、直腸脱、便秘など）を中心とした診療を行う予定ですが、詳細につきましては改めてご案内を致します。

泌尿器科においては、昨年7月より神楽岡泌尿器科の渋谷秋彦先生のご指導のもと、ホルミウムレーザーによる前立腺核手術（HoLEP）を導入しています。この手術は出血が少なく、尿道留置カテーテル抜去は翌日に可能で、患者さんの身体的負担を軽減することにもなり、治療の選択肢のひとつとして積極的に取り入れています。

血管外科では、従前より下肢静脈瘤の治療を行っていますが、昨年12月にELVeSレーザー1470を用いた下肢静脈瘤血管内レーザー治療（保険適用）を導入致しました。詳細につきましては本誌7ページにて紹介していますので、こちらをご覧ください。

さて、現在の我が国の医療を取り巻く環境については皆様ご存じの通りですが、超高齢社会への対応、増大する医療費の抑制など多くの課題が山積しています。加えて経済についても景気動向は先行き不透明であり、不安感が広まっている状況です。しかしながら当院といたしましては、いかなる状況であっても地域の皆様の健康を守る事が使命であり、常に知識と技術の向上に努め、良質なサービスを提供し続けていく所存です。

そこで、全職員が一丸となって取り組むべく、当院における年頭訓示の際に、今年のスローガンを「掴む」として発表いたしました。今年の干支である「酉」は、収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということを表し、そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされています。当院では、「職員一人ひとりが成長できる魅力あふれる職場環境をつくる」ことを基本方針の一つとしており、各人が目標を達成あるいは掴むことにより、当院をはじめとする医療法人仁友会全体として飛躍する年にしたいと考えています。

さらに、本年は当法人が開設50周年を迎える記念すべき年でもあります。これまで支えていたいた地域の皆様へ感謝するとともに、これからも貢献できるよう努めて参ります。現在、地域の皆様へ還元できるような事業を計画しており、詳細につきましては改めてご案内をさせていただきます。

最後になりますが、今後も患者さんにとってより良いサービスを提供し、地域・社会に貢献できるよう一層努めて参りますので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

# 北彩都病院 検査課の紹介

## 診療技術部 検査課 主任 和田絵里

当院の検査課は、臨床検査技師 10 名が所属し、生理検査は病院の職員、検体検査は検査センターの職員が検査を行っております。検体検査では、外来・入院、透析患者さんの透析前後の検査に加え、健診や人間ドック等にも対応しています。2015 年 8 月より前立腺腫瘍マーカー(PSA)が ¥500 で受けられるワンコイン検診も開始し、前立腺癌の早期発見・早期治療を目指しています。

また、腎尿路結石に対しての体外衝撃波結石破碎術（ESWL）の際に破碎された結石の成分分析を院内で実施しています。結石の成分が分かる事により、発症の原因の推測等が可能となります。検査は、破碎された結石を磨り潰す作業から始まり、機械にかけられた結石は、成分により様々な波形として表示されます。波形から結石成分を判読する為には経験が必要ですが、当院尿路結石センター長の山口副院長の指導の下、判読をしています。その他、甲状腺ホルモンに加え、2017 年 1 月より消化器系癌の腫瘍マーカーである CEA、CA19-9 も院内検査が可能となり、迅速な結果報告により診療に貢献できるよう努めていきたいと思います。



生理検査は、超音波検査士、排尿機能検査士、血管診療技師の資格を持つスタッフが在籍しています。検査内容は泌尿器科の超音波検査が多くを占めていますが、排尿機能検査の一貫として、残尿測定、尿流量測定検査や膀胱内圧測定検査等の検査も行っています。膀胱内圧測定検査は、蓄尿・排尿等の膀胱機能を調べる検査で、排尿に異常がある場合に行います。この検査は、膀胱内に生理食塩水を注入しながら、人為的に尿が溜まる状態を作っていく、その時の膀胱の圧力や周囲の神経の状態を診ていきます。最近は、骨盤臓器脱の術前評価に行われることが多く女性患者さんが多い為、検査中のみならず検査前後の配慮も心掛けながら、泌尿器科医師と共に検査を行っています。

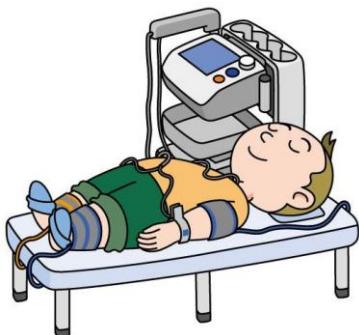
また、当院は道北圏域における透析患者さんのバスキュラー・アクセス（VA）の基幹病院として、治療を行っています。その為、当院の透析患者さんの他、道北・オホーツク地域等からの患者さんも透析導入時の VA 新規作製目的や VA トラブル等で来院されます。検査課では、VA 新規作製前や VA トラブル時の血管評価を超音波検査で行っています。VA 関連の超音波検査数は、年間約 250 件になります。

その他、静脈瘤疑いの血管超音波検査、下肢虚血評価では超音波検査以外に、血流動態を評価する PWV/ABI、更に毛細血管の血流を評価する皮膚灌流圧検査(SPP)等を行っています。血管

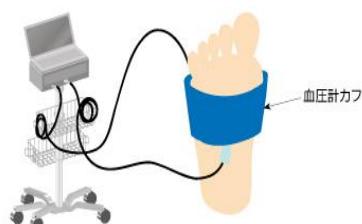
評価の検査は、検査時間を要するものが多い為、患者さんにも御協力頂きながら、少しでも検査の効率を上げられるよう、日々努力をしています。

泌尿器・透析・血管に特化した領域の検査が多いですが、これからも診断に有意な検査結果を提供できるよう、スタッフ一同、日々精進していきたいと思います。

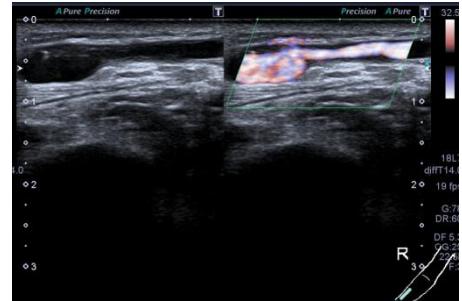
受けてみたい検査等がありましたら、診察の際に、医師への御相談をお願い致します。



【PWV/ABI 検査】



【SPP 検査】



【VA 超音波検査 (VA 狹窄部画像)】

## 第32回北彩都病院 市民講演会報告

去る2016年10月16日(日)9時半～12時において北彩都病院6階ホールにて第32回北彩都病院市民講演会が開催されました。

今回は、北彩都病院 副院長 内科 平山智也医師による「腎不全患者の特徴」と北彩都病院 上林沙希子管理栄養士による「食事から考える腎臓病」の講演を行いました。

聴講者の多くの皆様より「大変わかりやすかった」「聴講してみて大変良かった」とのお言葉をいただきました。

次回の第33回北彩都病院市民講演会は2017年春頃に予定しております。次回の皆様の聴講を心よりお待ちしております。



**北彩都病院 副院長 内科  
平山 智也医師**



**北彩都病院  
上林 沙希子管理栄養士**

# 北彩都病院 薬剤課の紹介

## 薬剤課 課長 大屋敷 岳男

北彩都病院の薬剤課では、現在5名のスタッフで業務を行っております。主な業務内容は下記の通りです。

### ○調剤

入院の患者さんと一部の外来の患者さんに処方された薬を院内で調剤いたします。

医師が発行した処方箋について、薬の用量・使用方法や他剤との飲み合わせが適切であるか、患者さんの状態に合わせて処方されているかなどの内容を確認します。薬を取り揃え、患者さんが服用しやすいようなかたちにして扱いいたします。薬についての情報提供もさせていただきます。

### ○注射調剤

入院している患者さんに使用する注射薬を、1日分毎、患者さん毎に取り揃え、病棟に扱いいたします。処方箋の内容についても適切であるか確認しています。注射薬にはバーコードラベルを添付し、システムを用いて安全管理を行っています。

### ○がん化学療法剤無菌調製・注射ミキシング

病院の中で投与されるすべての抗がん剤は、専用のキャビネットを使い、薬剤課で作っています（ミキシング）。患者さんの状態やプロトコール（約束の抗がん剤投与方法）に従って十分にチェックすることで、清潔で安全な抗がん剤が病棟で使用されています。また、食事がとれない患者さんのための高カロリーの栄養輸液も薬剤課で作っています。

### ○製剤

市販されていない特殊な医薬品（軟膏や外用消毒剤など）を調製しています。

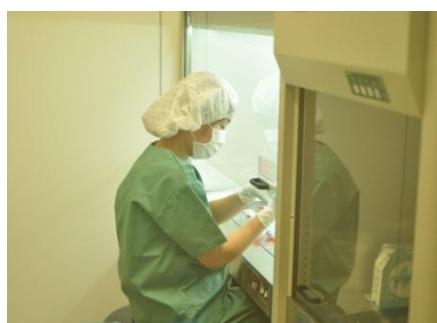
### ○医薬品管理

医薬品の品質管理と数量管理を行います。治療に必要な薬剤を常に最良の状態で提供できるように、薬剤課内だけでなく、院内すべての薬剤に関して保管状況、有効期限をチェックします。また、900を超える取り扱い品目が不足あるいは過剰にもならないよう、数量の管理を行います。

さらに、法律上で特別な管理を必要とする医薬品（麻薬や向精神薬など）の管理を厳重に行っています。

### ○医薬品情報管理（DI : Drug Information）

医薬品に関する情報を収集し、患者さんや院内の各職種に向けて必要な時に必要な情報を提供します。



## ○薬剤管理指導業務（服薬指導）

医師の同意のもと、入院患者さんに服薬指導を行ないます。入院当初に患者さんの服用されている薬（持参薬）、副作用歴、アレルギー歴などを確認させていただきます。入院中に使用する医薬品について、薬効や飲み方、使い方、保管方法などをご説明し、服用することに問題がないか確認します。また副作用の早期発見にも努めております。その他、疑問や質問などにもお答えします。医師の治療方針に基づいた適切な治療が行えるようサポートします。



## ○医療チームへの参加

院内の医療チームすべてに薬剤課が参加しています。各チームはさまざまな職種の医療スタッフが集まり、それぞれの職能を生かすことで、治療に難渋している主治医を助け、早期の疼痛緩和や病状の回復に努めています。

## ○治験

治験とは、新しく開発される薬が、国から医薬品として承認を受ける為に行う試験です。新しい医薬品の安全性や有効性を調べる為に必要なもので、患者さんの協力が必要な試験です。薬剤課では治験で扱う医薬品の保管・管理を行います。

### ☆☆入院患者さんの持参薬確認について☆☆

当院では入院される際に持参薬を病棟にて確認させていただいております。

持参薬とは患者さんが入院時に持ち込まれる現在お使いになっている薬【飲み薬、点眼薬、貼り薬、注射など】のことです。

持参薬の情報を早く的確に把握することは、入院後の治療をより適切に行う上で、とても重要です。

#### ★持参薬確認の際必要なもの

お薬手帳又はお薬の説明書など

現在内服している薬

#### ★持参薬確認の利点

自宅で服用している薬が入院中にも利用できます！

持参薬とこれから治療のために処方される薬との相互作用がチェックできます！

手術や検査の前には中止となる薬を入院時にチェックすることができます！

健康食品やサプリメントと薬の飲み合わせについてもチェックする事ができます！

## お知らせ

### 北彩都病院にて消化器外科・肛門外科を開設いたしました。

北彩都病院では、2017年1月4日より海老澤良昭先生による消化器外科・肛門外科を開設いたしました。

診察する主な疾患は、肛門疾患（痔など）、大腸・直腸疾患（がん、ヘルニア、直腸脱、便秘など）です。予約の必要はございませんので、診察を希望される方は、北彩都病院へご来院下さい。

#### 外来診察曜日

	月	火	水	木	金
午前（9:00～12:30）	×	○	○	×	○
午後（13:30～17:00）	×	○	×	○	×

※受付時間は午前が8:30～12:00、午後が13:30～16:00です。



### 保険適用可能な下肢静脈瘤のレーザー治療を導入いたしました。

北彩都病院では ELVeS レーザー1470 を用いた下肢静脈瘤血管内レーザー治療（保険適用）を導入いたしました。下肢静脈瘤とは、足の静脈の弁が壊れてしまう血管の病気です。40歳以上の約半数が下肢静脈瘤になると言われています。足がむくむ、足の血管がボコボコと浮き出て瘤のようになっている、血管が目立つようになっている、足の色が変色している、皮膚炎をおこしているなどの症状でお悩みの方はいませんか？

下肢静脈瘤はエコー検査により手術適応になるかどうか、すぐに診断ができます。

お悩みの方は北彩都病院へご相談ください。

#### 【レーザー治療（ELVeS レーザー1470）の良い点】

- ・手術部位の傷跡がほとんど残りません
- ・術後の痛みや皮下出血が少ないです
- ・短期入院で手術が可能です

#### 【血管外科 診察時間のご案内】

診療時間 11:00～12:00（月曜日・木曜日）



## 第6回 慢性腎臓病患者についての勉強会報告

去る2016年11月10日(木)18時半～20時において北彩都病院6階ホールにて第6回慢性腎臓病患者についての勉強会を開催致しました。今回は138名と多数のご参加をいただきました。

北彩都病院副院長 内科 平山智也医師による講演「透析患者の特徴」と、北彩都病院上林沙希子管理栄養士による講演「楽しい食事療法」を行いました。また、キッセイ薬品工業株式会社、日清オイリオグループ株式会社による試食会を行いました。



**北彩都病院 副院長 内科  
平山 智也医師**



**北彩都病院  
上林 沙希子管理栄養士**

北彩都病院地域医療連携室では年に1回、旭川市内・近郊の在宅関連施設スタッフ向けに慢性腎臓病患者とそのケアについてご理解を深めて頂きたく勉強会の開催を予定しております。

次年度も皆様のご参加を心よりお待ちしております。



**日清オイリオグループ株式会社**



**キッセイ薬品工業株式会社**

**北彩都病院 地域医療連携室 退院支援看護師の藤原ですが、1月13日をもって退職致しました。在職中はひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。**

### 発行

医療法人仁友会 北彩都病院 地域医療連携室 広報誌「地域医療連携室通信」編集事務局

〒070-0030 旭川市宮下通9丁目2番1号

Tel 0166-26-6411(代表) Fax 0166-26-6417(直通)

お気軽

お問い合わせください